

令和4年度 野村高校 第3学期始業式式辞

皆さん、明けましておめでとうございます。新しい年が始まりました。そして、今日から3学期がスタートします。3年生にとっては、高校最後の締めくくりの学期ですし、2年生にとっては、最上級生への準備期間、いわば3年ゼロ学期とも言われる学期です。そして1年生は、高校生活にも慣れて、少し緩んできた気持ちを引き締め直す学期だといえるでしょう。

私は、2学期の終業式で、自分のやってきたことを振り返る場合に気を付ける3つのポイントについて話をしました。それは、「やってよかったことは何か」、「うまくいかなかったことは何か」、「新しくやってみたいことは何か」という3つの視点です。さて、皆さんは新年にあたって、この3つの視点で自己を振り返り、新しい目標を立てることはできたでしょうか。一口に「目標を立てる」といいますが、目標は、ただ立てればよいものではなく、具体的にどのような目標を立てるのが、実は非常に重要です。

青山学院大学駅伝部と言えば、2015年の初優勝以来ずっと、正月の箱根駅伝で好成績を収め続けているチームですが、私は以前、この青山学院大学駅伝部の原監督の講演で、有効な「目標の立て方」について話を聞いたことがあります。原監督は、駅伝部の部員全員に、1か月ごと、試合や合宿ごと、1年ごとに具体的な目標を書き込める「目標管理シート」をA4用紙1枚に書かせているというのです。そして、この「目標管理シート」を書く際に重要なことは、①実現できそうな具体的な目標を書くこと、②どんなに小さな試合でも必ず目標を立ててから臨むこと、③目標が達成できたか、その結果も記入することだとおっしゃっていました。原監督によれば、部員が自分で目標を立て、それを実現するために何をどうすればいいのかを部員自身が考え実行することで、大きく成長できるのだそうです。特に、一歩どころか半歩を確実に達成できるような実現可能な目標を立てることで成功体験を積み重ねた部員は、4年間でもものすごく成長するとのことでした。その一方、なかなか伸びない部員は、実現不可能な目標を掲げてしまっているようです。この原監督のお話から学べることは、目標を立てる際には、今の自分の実力を冷静に分析し、実現可能な目標を立てることが成功の鍵だということだと思えます。皆さん、新年という節目に、自分自身を冷静に見つめ直し、実現可能な目標を立てて、成功体験を積み重ねていってください。

さて、今年はいしご年です。うさぎの愛らしい表情やふわふわとした肌触り、そしてジャンプ力からイメージした三つの言葉を皆さんにプレゼントして、私の挨拶を終わりにしたいと思います。一つ目は、誰からも愛される自分の魅力を引き出して飛躍の年にしましょう。二つ目は、日々生じてくるさまざまな問題も明るくぴょんとクリアーしていきましょう。三つ目は、半歩、半歩をしっかりと進む実現可能な目標を立て、夢に向かってジャンプしましょう。うさぎは後足が長く、坂を登ることが得意なことから、「自分の持つ力を十分発揮して物事が早く進むこと」をあらわす「うさぎの上り坂」という言葉があります。2023年が、皆さんにとって「うさぎの上り坂」のような一年となるよう、そして皆さんが、日々誰かを笑顔にし、気持ちの良いあいさつのできる素直で前向きな野村高生として一層成長することを祈って、式辞とします。